

2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.15)

未来の都市

【設計】株式会社SD

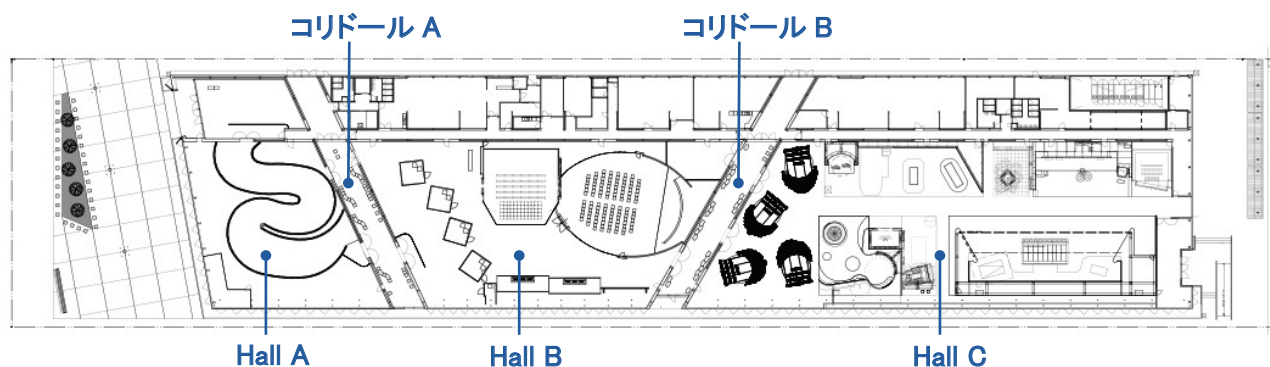
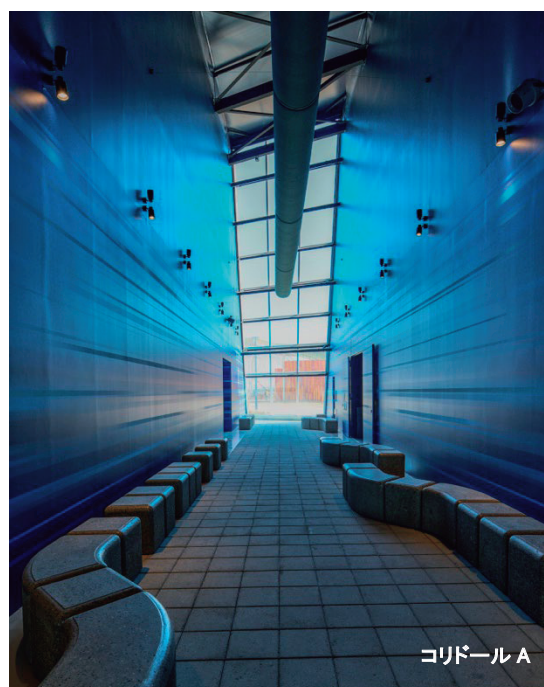


パビリオン外観 夜景



Hall B 内観

2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.15)



【パビリオンの概要】

「未来の都市」は博覧会協会と協賛12者による共同出展事業であり、博覧会史上でも稀なパビリオンである。

全長約150mのファサードは外壁の内膜と折り紙のような表層膜による「ダブルスキン」で構成されている。モアレが浮かぶファサードには、日中は真っ白な陰影が刻まれ、夜は建物そのものが照明装置として多彩な演出が展開される。

3つのホールは、テーマである「Society5.0が目指す未来の都市」を体感できる多様な展示が織りなされ、各室の間を繋ぐコリドールは外観のアクセントであるとともに展示ストーリーを転換する場にもなっている。

また建物としても脱酸素・循環社会への取り組みとして、外壁や屋根・ファサードには自浄機能のある光触媒メッシュ膜を採用した他、実証実験として、舗装やベン

チに使用されたCO₂を吸収・固定する「CARBON POOL コンクリート」や、CO₂濃度や室温を計測して換気量・空調運転を制御する「エネルギーマネジメントシステム」など、複数のエネルギー消費削減に取り組んでいる。

【設計概要】

面積	敷地/7,099.09㎡、延床/4,797.02㎡
構造	鉄骨造 + 骨組膜構造 + システムトラス造
発注者	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
施工	太陽工業株式会社
設計	(意匠) 株式会社SD、株式会社石嶋設計室 (構造) 株式会社KAP (機械) 株式会社テーテンス事務所 (電気) 株式会社ELEPLAN